

ボーリング柱状図

調査名 道路災害復旧工事に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	2	3	3	2	2	7	1	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

シートNo.

ボーリング名	Bor-4-1		調査位置	広島県庄原市東城町川西地先			北緯	34° 53' 35.3070"					
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	平成29年 4月 4日～平成29年 4月 14日			東経	133° 16' 03.7130"				
調査業者名				主任技師				現代理人	コア鑑定者				
ボーリング責任者				現場				コア					
孔口標高	356.59m	角	180° 上下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 南 0°		地盤勾配	24° 鉛直 90°		使用試験機	東邦D1-B48	
総掘進長	43.00m	度	0°		向			エンジン	ヤンマーNFD-12		ハンマー	落下用具	
								ポンプ	東邦BG-3C				

標尺	標高	深度	柱状区分	岩種	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記	コア採取率 (%)	岩級	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験		原位置試験	室内試験	掘進状況							
														深	打撃回数 / 貫入量			掘進速度	孔径 / 孔壁保護	給送	回転	送水	送水量	排水	
m	m	m	図							事	最大コア長 R Q D [%]	分	日	m	回/cm	N 値	日	cm/時	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa		
356.49	0.10	0.10	表土	黒	褐	E V d				植物片が多く、有機質である。粘性土である。	0 [0]	DM	4/6					750	1.0 2.0	60	0.0	無水	0	0	
356.09	0.50	0.50	砂礫	黒	褐	E V d				φ2~20mm位の角礫が50~60%位混じる。	22 [50]	DM	4/6					75	0.3	100	0.0	泥水	5	5	
355.59	1.00	1.00	褐緑灰	黒	褐	III c	γ	2		粘性分が若干混じる、崩壊土。全体的に亀裂が多く、コアは短柱状~岩片状(一部は砂礫状)を呈する。GL-5.7m付近までは、変質し褐色を帯びている。潜在亀裂が多い。砂岩はやや褐色を帯びている。ハンマー打撃にて濁った金属音がする。	35 [80]	CL	4/7					60	0.3	180	0.0	泥水	5	5	
				黒	黒	III c	γ	2		45~70°位の亀裂が多い。亀裂部に沿って岩片化や砂礫状となっている。コアは、短柱状~柱状である。特に泥岩優勢部では、コアは柱状となる。	28 [60]	CL	4/7					60	0.3	180	0.0	泥水	5	5	
				黒	黒	III c	γ	2			35 [70]	CL	4/7					60	0.3	120	0.0	泥水	5	5	
350.89	5.70	5.70		黒	黒	II b	β				15 [37]	CM	4/7					60	0.3	180	0.0	泥水	5	5	
				黒	黒	II b	β				30 [83]	CM	4/7						87	0.3	180	0.0	泥水	5	5
348.29	8.30	8.30		黒	黒	II b	β				20 [51]	CM	4/8					86	0.3	180	0.0	泥水	5	5	
				黒	黒	II b	β				22 [85]	CL & CM	4/8					86	0.3	180	0.0	泥水	5	5	
347.19	9.40	9.40		明灰	黒	III c	γ			GL-5.7~16.0m付近、コアは短柱状~柱状。	20 [80]	CL & CM	4/11					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				明灰	黒	III c	γ			30~40°位の亀裂が多い。	20 [80]	CL & CM	4/11					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
346.29	10.30	10.30		明灰	黒	III c	γ				26 [77]	CL	4/11					133	0.5	180	0.0	泥水	8	7	
				明灰	黒	III c	γ				22 [51]	CL	4/11					133	0.5	180	0.0	泥水	8	7	
343.99	12.60	12.60		砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1		ハンマー打撃により濁った金属音がする。	21 [70]	CM	4/10					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1			14 [25]	CM	4/10					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
343.29	13.30	13.30		砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1			25 [50]	CM	4/10					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
342.89	13.70	13.70		砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ			GL-9.7~16.0m付近は泥岩が優勢となる。	12 [32]	CL & CM	4/10					100	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ				25 [50]	CM	4/10					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
341.59	15.00	15.00		砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1			12 [32]	CL & CM	4/10					150	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1			45 [87]	CH	4/12					147	0.5	180	0.0	泥水	8	7	
340.59	16.00	16.00		砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1		GL-16.0~18.8m付近、コアは柱状が主体となる。30~40°位の亀裂が多い。亀裂密無部では、コアは短柱状となる。GL-16.0~19.0m付近は泥岩が優勢。	30 [75]	CH	4/12					150	0.5	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1			29 [57]	CL & CM	4/13					150	0.5	180	0.0	泥水	8	7	
338.59	18.00	18.00		砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1			40 [89]	CH	4/13					132	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	II b	β	1		GL-18.7~19.0m付近、固結した弱破砕部。GL-19.0~19.8m付近は、コアは柱状である。GL-19.0~20.0m付近は、亀裂部がやや変質化。	35 [92]	CH	4/13					127	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
337.59	19.00	19.00		砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2			20 [68]	CL & CM	4/13					133	0.5	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2			20 [68]	CL & CM	4/13					133	0.5	180	0.0	泥水	8	7	
336.59	20.00	20.00		砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2			20 [72]	CH	4/13					127	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2			38 [100]	CH	4/13					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
336.19	20.40	20.40		砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2				CH	4/13					127	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2				CH	4/13					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
333.19	20.40	20.40		砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2				CH	4/13					127	0.3	180	0.0	泥水	8	7	
				砂岩・泥岩互層	黒	III c	γ	2				CH	4/13					133	0.3	180	0.0	泥水	8	7	

